

平成22年度 第3回 保見地域会議 会議録

日 時：平成22年5月18日（火） 19：00～21：00

場 所：保見交流館 中会議室

出席者：地域会議委員18名（欠席2名）

会長 井原邦和

福会長 柴田千鶴子

委員 伊藤勝美 柏本 誠 粕谷芳枝 篠田 修 柴田健司

杉山和孝 高木未男 武田千恵子 正木恒男 松井宗久

水嶋清行 宮川公利 村田美智子 八木伸夫 山田耕作

横条 鈞

猿投支所 天野繁和 篠田 博 西塔 隆 澤田亜紀

傍聴人：なし

次第

- 1 地域会議会長挨拶
- 2 わくわく事業審査会
- 3 事務連絡

議事（要約）

わくわく事業審査会

（1）補助金交付要綱上の適否について

ア 補助要綱第2条 全て「適」とする。

イ 補助要綱第3条 全て「適」とする。

ウ 補助要綱第4条 全て「適」とする。

エ 補助要綱第5条 全て「適」とする。

（2）事業の評価について

委員の採点結果からすべての事業で採択基準を満たしている。申請金額が予算を超過しているため、個別に補助金額および補助する上で、付すべき条件を審議する。

《個別審議》

【広幡なでしこ会】

テントは現有分もあるので、不足分は当面借用して対応することとし、テント購入代99,750円は減額し、補助金額を145,000円とする。

【茶木茶喜くらぶ】

団体側としても倉庫がないと活動がしにくいだろう。

この団体は、地域で活動していないから実態が見えない。

減額の範囲で活動してもらってはどうか。

50万円で倉庫を工面してもらう方法もある。

前回H19年度の実績金額程度で活動できている。

伊保川環境整備は活動対象外である。

火災にあっても、使えるものは使ってほしい。

補助金額を 500,000 円とする。

【元気な里づくりを考える会】

事前着手承認も得たうえで既に植えている。

申請のとおり、補助金額を 111,000 円とする。

【伊保町ソフトボール同好会】

20 万円以下の申請はプレゼンなしとする主旨を活かしたいが、この事業も含めて、わくわく事業の審査基準のあり方を今年度検討することとしたい。

20 万円以下の申請が増え、地域活性化に役立っている。

申請のとおり、補助金額を 199,000 円とする。

【伊保町フォークダンスクラブ】

20 万円以下の申請はプレゼンなしとする主旨を活かしたい。伊保町ソフトボール同好会同様、わくわく事業の審査基準のあり方を今年度検討することとしたい。

申請のとおり、補助金額を 190,000 円とする。

【貝津町ジュニアクラブ】

法被の必要枚数についての説明が分かりにくい。

団体会費等の自主財源が計上されていない。

法被は自治区で協力できるのではないか。

法被を 20 着分として補助する。

補助金額を 750,000 円とする。

【伊保町棒の手保存会】

20 万円以下の申請はプレゼンなしとする主旨を活かしたい。

申請のとおり、補助金額を 195,000 円とする。

【米米クラブ】

3 回目の申請であり、自立化を検討してほしい。

親子のふれあい体験という主旨は良い。

申請のとおり、補助金額を 188,000 円とする。

【保見ヶ丘ブラジル人協会】

このような団体が申請することは受け入れたい。

成果発表は一方的であるので、実態が分かりにくい。

会の収入を書くようにしてほしい。

補助金額を 290,000 円とする。

【保見地区保護司会劇団ランプ】

設備費が高額であり、ここまでの設備が必要かどうか疑問だ。

学校の講堂で実施するなら、ある程度設備もあるのではないか。

4校で演劇が上演できるか確認してきたが、マイクのみであり、集音マイクが欲しいとのことだった。
プレゼンの評価が1位であった点を考慮したい。この補助金は初期投資である。
保護司はもともと無報酬のボランティアであり、実績はないが最初（初期投資）は認めていきたい。
保護司だからこそできる事業である。
食糧費を減額し、補助金額を950,000円とする。

【東保見町まちづくり協議会「フレンズ」】
初期投資として必要な経費である。
申請のとおり、補助金額を510,000円とする。

【保見ヶ丘おやこまつり実行委員会】
上映のための最低限の申請であり、減額したら事業ができなくなる。
申請のとおり、補助金額131,000円とする。

【保見地域FF会】
補助制度の上限と継続年数を地域会議として決めていないことに問題がある。
売上収入もあるので、その部分をはっきりしてほしい。
ある程度売上収入があるので、わくわく事業の主旨に反するのではないか。
学校や地域に花を無償配布したりして、地域に貢献しており、わくわく事業の主旨にあっている。
わくわく事業補助金の1/5をこの団体だけに補助していることも議論すべきだ。
自主自立を目指していく事業である。
補助金額を839,000円とする。

事務局 次回の会議について
平成22年6月15日（火）午後7時～
保見交流館
「地域課題について」